

事務事業名		高齢者にやさしい住宅改良促進事業			会計	一般会計				
H27担当課等名		長寿支援課		H27係等名	長寿支援係		H26係等名	長寿支援係		
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり			施策	35	高齢者福祉の推進	
目的	対象(誰・何を)	住宅改良の必要性のある低所得の独居・高齢者世帯								
	意図(どういう状態にするか)	できる限り要介護状態になることなく、または要介護状態が悪化することなく健康で生き生きとした在宅生活を送る								
	向上させたい上位施策の成果指標	安心して暮らせている高齢者の割合								
		指標名及び単位			26年度計画		26年度実績		27年度計画	
種別		指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
目標	成果指標	利用率 補助を受けた人/住宅改良の必要のある者×100			100	100	100	100		
	定性目標									
<p>事業概要</p> <p>住宅改良の必要のある低所得の高齢者に住宅改良に要する費用を補助する。 対象世帯:次のア及びイのいずれにも満たす世帯。 1 65歳以上の高齢者であって、介護保険第19条の規定により要介護若しくは要支援の認定を受けた者、若しくは身体障害者(障害者手帳1～3級所持者)又は市長において支援が必要と認める者(以下「補助対象者」という。)のいる世帯。 2 前年の所得税額の合算額が8万円以下の世帯。 補助対象限度額:70万円と住宅改良に要する経費とを比較していずれか少ない額の10分の9の額。</p>										
事業内容					名称			活動指標		
26年度事業内容	住宅改良の必要のある低所得の高齢者に住宅改良に要する費用を補助				補助件数			1件		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		630	630	630	630	(県)高齢者にやさしい住宅改良促進事業補助金(1/2)				
国庫支出金										
県支出金		315	315	315	315					
起債										
その他										
一般財源		315	315	315	315					
人件費計(千円)②		29		47						
正規職員所要時間		5		10						
臨時職員所要時間		10		10						
総事業費①+②		659	630	677	630					
事業内容・目標達成状況の振り返り		この補助制度は、補助件数が1件で、前年の所得税額8万円以下の所得要件があるため、申請内容詳細確認のために訪問し、住宅改良の必要性の聴き取り調査等を充分行い、補助対象者を決定した。								
改革改善の考え方	①問題点	補助対象件数が限られているため、年間での対応件数が限られる。								
	②改革提案	在宅福祉サービス一覧表に載せて、事業者連絡会で配布し、ケアマネージャーに必要性の高い方を紹介してもらう。								